

特集

# もっと知りたいクスリの話

## 第13集 新しいクスリができるまで

山都町立蘇陽病院 薬剤科 奥村真利子  
監修 院長 水本 誠一

現在、高血圧・糖尿病・喘息など、さまざまな種類のクスリが多く販売され、医療機関で処方されています。これからも、新しいクスリが出てくることでしょう。では、このようなクスリはどのようにして開発され、販売されてきたのでしょうか。

クスリが、みなさんのお手元に届くまでを解説します。

### ● クスリの開発・販売までの流れ

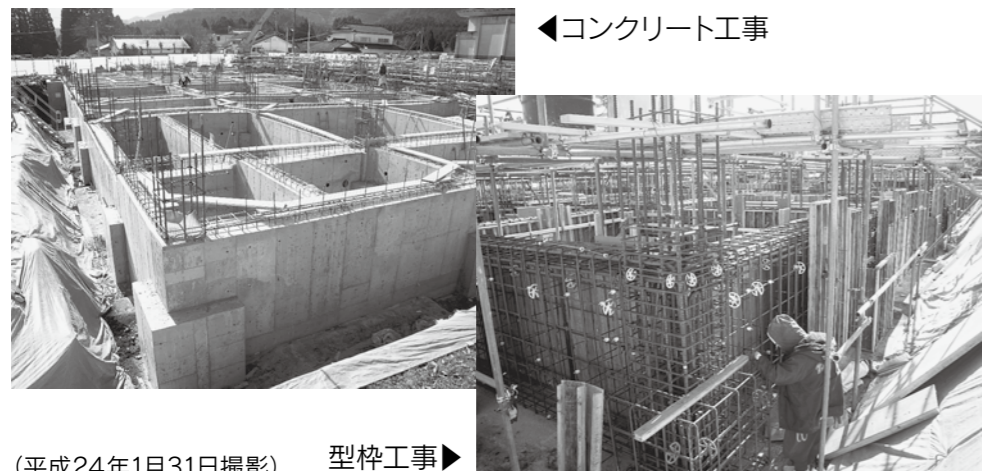
2~3年	・ある物質を見つけて、くすりになりそうかどうか調べる。
3~5年	・動物や培養した細胞で、くすりの効果・安全性などを調べる。
3~7年	・人で、くすりの効果・安全性を調べる。通常、3段階で進められている。
1~2年	・厚生労働省で審査を受け、製造・販売するための許可を得る。

ひとつの物質が「新薬」として認められるまでには、10～18年の開発期間と多額の費用がかかり、年々、開発費用は増加傾向にあると言われています。「新薬」の成功率はほんの一握りで、開発している研究者の努力が報われないまま消えていく場合のほうが圧倒的に多いのです。

製薬会社は、「新薬」が販売された後も、ある一定期間、安全性や有効性などの情報を集め厚生労働省や医療機関に報告する義務があります。

新しい薬を必要としている病気はまだあります。しかし、そのためのクスリを開発することは本当に難しいのです。現在、みなさんが服用しているクスリは、大変な過程を経て生まれてきたものです。

クスリは、適正に使用されてはじめて「クスリ」としての役割を果たすことができます。自己判断で、クスリの服用を止めたり、服用量を変えたりすることはしないでください。



◀コンクリート工事

(平成24年1月31日撮影) 型枠工事▶

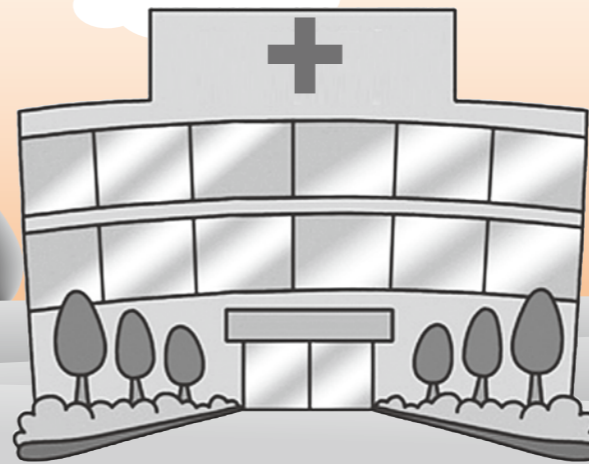
今年秋の竣工に向け、着々と工事が進んでいます。

新蘇陽病院  
ここまで  
できました

# 蘇陽病院だより

## ～蘇陽病院基本理念～

「へき地医療拠点病院として、患者様に信頼される良質な医療を提供し、地域住民に親しまれる病院を目指します。」



# 知って得する健康講座

特集

## 第41集 口腔乾燥(ドライマウス)について

柏歯科診療所 歯科医師 甲斐 義久

今回は口腔乾燥についてお話しします。健康な成人の方の唾液は1日どのくらい分泌されるかご存知ですか?およそ1000～1500 ml と言われています。それが何らかの原因で唾液が慢性的に不足し、口腔内が常に乾燥した状態になることで、食べ物が飲み込みにくい、舌や粘膜が痛い、味がおかしいなど、様々な症状を示すのが口腔乾燥と言われる状態です。第一の原因は加齢によるもので、高齢者の唾液分泌量は、20代の成人に比べ約7分の1にも減少するとされています。

### ■ 口腔乾燥の原因

1. 加齢 唾液腺等の機能低下。
2. 薬剤の副作用 体液の減少を促進させる薬剤や抗分泌作用を有する薬剤。
3. 全身性疾患 糖尿病・腎臓病・シェーグレン症候群など。
4. その他の疾患 唾液腺疾患や唾液腺感染症(おたふくかぜ等)・唾液分泌に関わる神経の損傷。
5. 口呼吸 唾液の分泌量が正常でも、口呼吸があれば乾燥する(室内乾燥時など)。いびきや睡眠時無呼吸症候群でも乾燥をきたす。
6. 放射線傷害 放射線照射による唾液腺の機能障害。
7. 体液の異常 発汗や脱水、高度の嘔吐や下痢、出血など。

### ■ 口腔乾燥に対する治療は大きく原因療法と対症療法に分けることができます。

原因療法には、1) 薬剤の副作用の除去・軽減、2) 唾液分泌改善薬の使用、3) 水分補給、4) 生活習慣や体質の改善、5) 口呼吸への対応、があります。

対症療法では、乾燥した粘膜を守る為に保湿成分を含んだ製品を使用します。具体的には、「絹水」、「オーラルウェット」、「オーラルバランス」など、様々な商品が市販されています。

最後に、口の中の乾燥度をチェック表です。3つ以上当てはまる場合はドライマウスの可能性があります。医師もしくは歯科医師にご相談ください。

### ■ 口腔乾燥チェック表

- 口の中が乾いてカラカラする
- 口の中がネバネバして話にくい
- 乾いたものを飲み込みにくい
- 舌がひび割れたり、口の中が痛む
- 夜中に起きて水を飲む
- 味がよくわからない
- 口臭が気になる
- むし歯が増えた
- 入れ歯を調整しても合わない



口腔乾燥により萎縮した舌